

シンポジウム

日本にもシリア難民は来ています。

シリア 難民の 現状と 課題

2016/10/27

18:00 ~ 20:00

弁護士会館2階 講堂クレオ

井上 禮子

特定非営利活動法人パルシック (PARCIC) 代表理事

高橋 済

弁護士 シリア難民弁護団

西谷 文和

フリージャーナリスト

参加無料 申込不要

広く一般の方々のご参加をお待ちしております



東京弁護士会

シリアの 現状を ご存知 ですか？

ISによるとされているテロが欧米や中東で頻繁に発生していることもありその本拠があるシリアが未曾有の事態になっていることは、みなさん漠然とはご存じかと思います。しかし、シリアの具体的な実情となると途端に分からなくなるのが正直なところで、少数ながらもシリアを離れ日本に保護を求めてくる人がいることについてはほとんどご存じないかと思います。

東京弁護士会は、昨年1月に、アフリカ諸国からの難民申請者に対する支援に踏み出すためのシンポジウムを開催しました。今回は、シリア難民をテーマに、広く一般の方々に難民の実態を知る機会と弁護士の学びの場として本シンポジウムを開催することにしました。

井上 禮子

特定非営利活動法人パルシック (PARCIC) 代表理事

トルコ南部に事務所を開設し、現地でシリア難民の支援を行っている井上さん。当日は、支援の内容と課題について説明をしていただきます。

高橋 済

弁護士 シリア難民弁護団

当日は、日本に辿りついたシリア難民申請者の訴えを紹介していただくとともに、裁判の状況について簡単に解説していただきます。

西谷 文和

フリージャーナリスト

被弾する危険のなか現地で取材を続ける西谷さん。当日は、現地で撮影した映像を会場で流しながら、内戦の実状及びシリアの人々の肉声を報告していただきます。シリア難民の生の声を聞くことも予定しています。

2016/10/27

18:00 ~ 20:00

弁護士会館 2階 講堂クレオ

主催：東京弁護士会 共催：関東弁護士会連合会

問い合わせ先 人権課 TEL:03-3581-2205

丸ノ内線「霞ヶ関」駅
B-1b 出口
千代田区霞が関 1-1-3

